

水道事業評価(令和5年度)
水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-2 組織能力の向上	事業	6-2-1 適正な組織・職員配置	担当課	上下水道総務課	
総事業費 0千円		事前・中間評価								
計画額	令和元年度(予算額) 0千円	令和2年度(予算額) 0千円	令和3年度(予算額) 0千円	令和4年度(予算額) 0千円	令和5年度(予算額) 0千円	令和6年度 0千円	令和7年度 0千円	令和8年度 0千円	令和9年度 0千円	令和10年度 0千円
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> 全業務において、業務委託等の民間活力導入について研究します。 社会経済状況が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を平成29年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済状況が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を平成30年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和元年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和2年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和3年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和4年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和5年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 			
総事業費 0千円		終了時評価								
決算額	0千円	0千円	0千円	0千円						
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託が可能な業務の点検を行ったが、委託可能な業務は無かった。 次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行った。 時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的・機動的な事業運営を行った。4～3月までの職員の時間外勤務について、平成29年度と比較すると約0.01%削減となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを行いました。4～3月までの職員の時間外勤務について、平成30年度と比較すると約29.5%削減となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを行いました。令和3年度の職員の時間外勤務について、令和元年度と比較し、約26.1%削減となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを行いました。令和4年度の職員の時間外勤務について、令和2年度と比較し、約18.4%削減となりました。 						